

会議概要書

会議の名称	第4回 小学校再編準備委員会
日 時	令和6年8月20日（火）午後6時00分～午後9時00分
会 場	市役所東庁舎2階 東大会議室
出席者	市教委：中村教育長、太田次長、飯島課長、松倉課長補佐、渡邊課長補佐、春日（中山職務代理者、下川教育委員、森教育委員、北澤教育委員）10名 準備委員：別紙名簿24名
会議内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 開 会 2 教育長あいさつ 3 会議事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 校歌制作の進捗状況について (2) 校章の選出について (3) 通学方法について (4) その他 4 その他 5 閉 会
主な意見等	<p>【校章の選出について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今回の校章選定のアンケートは夏休み中に送付されており、PTAの会議も開けずに総意を得られなかった。次回何か決めるときには考慮していただきたい。 ・ 再編準備委員会で複数選んだものを、子ども達や親等に再度投票してもらった方が良い。 ・ 中学校の校章を選定したときには、子どもやPTAの方も会議にいて決定してもらったので、今回も子どもたちや親の意見を聞いた方が良い。 → 中学校の校章の応募は約180件と多かった。そこから数点に絞り込むことが難しかったため、中学校在校生の代表と美術に識見がある方に絞ってもらった。今回は60数点の応募なので準備委員会で数点に絞っていただけると考えた。 ・ 東小学校の児童は南部小学校と北部小学校に分かれるのに、北部小学校の校章イメージが「北小学校と西小学校」でデザインされているものが多い。そのイメージでデザインされた校章は避けた方が良い。 ・ まだ決定するまでに期間があるのであれば、東小学校の児童の意見を踏まえてもう少し選定の仕方を考えてほしい。 <p>～校章デザイン候補の得票数発表～</p> <p style="padding-left: 20px;">校章デザインの得票数集計（左から得票数の多い順）</p> <p style="padding-left: 20px;">北部小学校：No. 21(8票) No. 37(7票) No. 30(6票)</p> <p style="padding-left: 40px;">同数で No. 27・No. 34・No. 40(5票)</p> <p style="padding-left: 20px;">南部小学校：同数で No. 07・No. 12 (7票)</p> <p style="padding-left: 40px;">同数で No. 08・No. 14・No. 34(6票)</p>

- ・ 得票数上位数点に絞られたので、すぐ一校でのアンケートや、学校の掲示板に張り出し、児童や親が投票できるような選定の仕方をしてもらいたい。
- ・ 数点に絞ったので、児童・親・職員が投票し校章デザインを決定するのが良い。
- ・ 学校再編であり、統合ではないので、今までの学校の校章の形を合わせましたという理由のものより、新しい形の校章の方が良い。
- ・ 「南部」と「北部」が入っていないと吸収されたというイメージが強くなってしまうため「南」と「北」のみの単語が入っているものは投票しなかった。そこの部分も考慮していただきたい。
 - 「北」「南」だけの文字が入ったデザインもあるが、募集要項に一部修正させていただく可能性があるという一文を入れてある。もし、そういったデザインが選ばれた場合には応募者に確認を取り修正することも可能。
- ・ 北部の数点に絞られたデザインを見てみると、あまり北と西の校章だけを組み合わせたものというデザインはないので、この中で子どもや親や職員からの投票で決めれば良い。
- ・ 子ども達にとっても貴重な体験、学びになってくると思うので子ども達に投票で選んでももらいたい。
- ・ 北部小の No. 21 と南部小の No. 12 の理由に「大町北小学校の皆さん～」 「大町南小学校の皆さん～」 と記載されている。おそらく間違いだと思うので投票する際には修正した方が良い。
 - 北部小学校のデザイン No. 30 の理由にも「大町北小・西小の形～」とあるので東小というワードも入れた方が良い。
 - デザインされた方の理由をそのまま記載している。理由については修正するのは難しい。そういった部分を踏まえた上で投票していただく。
- ・ デザイン理由が気になるのであれば、伏して投票ということもできるが、投票方法はこの場で協議いただきたい。
 - 応募者がどういった意図でデザインしたか分かるので伏す必要はない。
 - 北部小 No. 30 のデザインには「大」が入っている。東小の校章は「大」がモチーフになっており、デザイン理由に東小の内容が入っていなくても、見る人が見れば東小のことも考えてくれていると分かると思う。デザイン理由も大事だが、実際にデザインを見て子ども達や親がどう感じるかが大事だと思うので伏す必要はない。
- ・ 北部小 No. 40 に対するデザインが南部小にもあるが、それは南部の数点に選ばれていない。子ども達も不思議がると思うので、候補に含んだ

方が良いのではないか。

→ 他にも対になるデザインがあるが、得票数で決定しているので北部小については上位6点、南部小については上位5点で投票にかけるのが良いと思うがどうか。

→ 了承

- ・ 「南」「北」の文字のデザインを修正できるとのことだが、その文字の部分も含めてデザインとして提出しているのではないか。もし、そのデザインが選ばれて修正したときに全く別のデザインで提出される可能性もある。

→ 「北部」「南部」が入ったデザインであれば採用ということになった場合、応募者と連絡をとり了承いただければ修正していただく。了承いただけない場合は今回の候補から外そうと考えている。

- ・ 北部小に行く児童だけが北部小の校章デザインに投票するのか、それとも両方の校章デザインに投票するのか。

→ 2校新しく再編するので、全体で北部小も南部小も良い学校にするという意味で、全児童が両方の小学校の校章デザインに1票ずつ投票するのが良い。

- ・ 校章については、本日決定することはできない。子ども達や、親、職員に投票してもらい、教育委員会に提出し決定してもらおう。日程や投票の仕方は事務局で決めていくということで良いか。

→ 了承

【通学方法について】

- ・ 自分の地区がバスなのか徒歩なのかということを地区懇談会などで周知した方が良い。

- ・ 通学方法を決めるスケジュールはどのような予定か。

→ 開校の1年前には方向性が決まり、保護者へ周知できるようにしたい。

- ・ スクールバスを出す必要性はあるのか。

→ 通学については教育委員会の問題であり、安全な通学方法を提供する必要がある。

- ・ 大町中学校が開校してから通学に対しての意見が多くあったが、委員会で決めたことなので変更できなかった。今回は開校してから期限を決め、通学方法のルールについて変更できる柔軟性を持たせてほしい。

→ 大町中学校が開校した後、対応できる部分については市民バス等で対応した経過がある。対応できる部分と対応できない部分があるということはご了承いただきたい。

- ・ スクールバスの試乗会を設けてほしい。

→ 中学校でも開校前に試乗会をした経過があるので計画していく。

- ・ 地区PTAまで落として出た意見を準備委員会で共有した方が良い。
- ・ 小学校1年生が登校する際、西小・北小はボランティアと一緒に登下校してくれていて親も安心するので、そういった体制が開校と同時に整っていてほしい。
→ 学校運営協議会等で今後調整させていただく。
- ・ まだ、通学方法に関して各地区の説明会をしていないので、開催していく。その中で、保護者の意見も受けさせていただく。
- ・ 北小は、冬季に雪が多いので、1.5 kmにしてほしい。
→ 現在の北小の最長通学距離が1.7 km（最大区域内距離2.2 km）で、雪が降っても歩いて通っている。そこを踏まえて直線距離2.0 kmを基準とした。
- ・ 東小は通学方法が変わり、市街地に出たりするので不安という声が多い。ボランティアの方や地区の方々が通学路に立つなど、親の不安を払拭できるような案をこの準備委員会で考えてほしい。

・
【その他】

- ・ 2月上旬にある新一年生の一入入学で、北部小学校は使用できるか。
→ これからの工期を見てもみないと分からない。示せるようになったときにまた示させていただく。
- ・ 北部小学校の校舎について、特別支援学級の教室について要望させていただいた。変更された図面は見せていただけなのか。いつから工事が入るのか。そこに少し要望はできるのか聞かせてほしい。
→ 図面の中身は工事の性質上、工事をやっけていながら一部修正することは可能。工事は今年11～12月には契約して工事に入りたい。